

札幌市農業体験交流施設（サッポロさとらんど）

令和5年度市民農業講座（さっぽろ農学校入門コース）

に係る業務計画書

1. 令和5年度さっぽろ農学校入門コース事業概要

(1) 実施目的

幅広く市民を対象に、農業に関する体系的な知識の習得を通じて、新たな農業担い手の育成や農業応援団の育成を目的とした、市民農業講座さっぽろ農学校の入門コース事業を実施する。

(2) 実施方法

野菜栽培の基礎知識を中心に講義形式で進める。

(3) 募集対象

野菜栽培に関心や興味のある15歳以上の方。

(4) 開催期間・回数・時間

○開催期間 令和5年4月9日（日）～令和5年8月27日（日）

※日曜日のみの開催

○開催回数 18回（1回2講義、計36講義）

○開催時間 第一講 9:30～10:30まで

第二講 10:45～11:45まで

(5) 講義内容とスケジュール 別紙募集要項参照

(6) 募集人数

○コース受講申込者（全期間受講） 70名（当日受講なし）

※ 但し、来年4月の段階で新型コロナウイルス等の感染状況により、開催の中止、または受講者数を制限する場合も想定される。応募者数が制限数以上の場合は抽選で受講者を決定する。

(7) 会場

さとらんどセンター 視聴覚室

(8) 受講料

コース受講申込者（36講義、資料代も含む） 8,000円

(9) 募集方法

往復ハガキに氏名（フリガナ）、年齢、住所、電話番号、返信先を記入のうえ、さとらんどへ郵送。

(10) 募集期間

令和5年2月10日（金）～令和5年3月15日（水）必着

(11) 受講者の決定

応募者多数の場合には、抽選により受講者を決定する。受講者が決定次第、速やかに返信ハガキで通知する。

(12) 修了認定

受講者の学習意欲や出席率向上を図ることを目的に、全講座の7割以上出席した受講者に受講修了証を授与する。

(13) 広報

さっぽろ農学校入門コースの受講者募集にあたり、以下の広報活動を行なう。

- ① 札幌市のお知らせ2月号掲載
- ② さとらんどホームページ
- ③ さとらんど通信
- ④ ポスター 170枚作成（専修コースとあわせて札幌市が作成。配付先内訳は別添のとおり）
- ⑤ 募集要項 1,473部作成（配付先内訳は別添のとおり）

(14) 録画済講座内容の一般公開

「さっぽろ農学校入門コース」の講義内容をVTR収録したものを、引き続き、ホームページで閲覧できるようにする。

(15) 新型コロナウイルス感染拡大や災害等により休講した場合の対応について

- 講義スケジュールに従って実施し、休講分の補講は行わない。
- コース受講者には、1日当たり500円の受講料を休講した日数分返金する。ただし、返金の上限は8,000円とする。
- また、返金は、原則として、講義最終日（8月27日）以降に一括で返金する。
- 受講者の都合により欠席の場合は返金しない。※テキストを渡す。

2. 令和4年度事業との相違点とその理由

講師1名（片山寿美子氏）退任し、新たに江田美智江氏（元北海道普及指導員）高橋恒久氏（元北海道普及指導員、さとらんど職員予定）の2名を任用する。

3. 添付資料

- (1) 令和5年度さっぽろ農学校・入門コース 募集要項（※講師一覧を含む）
- (2) 募集要項配付先一覧

令和5年度さっぽろ農学校・入門コース 募集要項

- ◆募集対象 野菜栽培に関心や興味を持つ15歳以上の方。
- ◆開催期間・回数・時間 開催期間 令和5年4月9日(日)～令和5年8月27日(日)(毎回 日曜日開催)
開催回数 18回(1回2講義。計36講義)※具体的なスケジュールは別項に記載。
時間 第1講 9:30～10:30 第2講 10:45～11:45
- ◆募集人数 ○コース(全期間)受講者 70名
- ◆会場 サッポロさとらんど(札幌市東区丘珠町584番地2)さとらんどセンター視聴覚室
- ◆受講料 コース(全期間)受講者(36講義の資料代も含む) 8,000円
- ◆受講料の納入方法 コース(全期間)受講者は、さとらんどセンターの受付(窓口)に直接お支払い下さい。詳細は返信ハガキでお知らせします。
※一旦納められた受講料につきましては、お返しできませんのでご了承下さい。
- ◆応募方法 往復ハガキに氏名(フリガナ)、年齢、住所、電話番号、返信先を必ず記入の上(往復ハガキ記入例参照)、お申し込み下さい。
- ◆申込期間 令和5年2月10日(金)～令和5年3月15日(水)(必着)
- ◆申込先 〒007-0880 札幌市東区丘珠町584番地2
サッポロさとらんど「さっぽろ農学校入門コース」係
- ◆受講者の決定 応募者多数の場合は、抽選により受講者を決定します。
受講者が決定次第、返信ハガキにて通知します。
- ◆講座の修了 講座の7割以上を出席された方に「受講修了証」を授与します。
- ◆個人情報の保護 応募に伴いご提供頂く個人情報は、農学校入門コースの募集に限定して使用します。
- ◆その他 新型コロナウイルス感染拡大や災害等により休講した場合の対応について
○令和5年4月時点で、新型コロナウイルスの感染状況等により、開催の中止、または受講者数の制限等を実施することがあります。
コース(全期間)応募者数が制限人数以上の場合は抽選で受講者を決定します。
○講義スケジュールに従って実施し、休講した場合は休講分の補講は行いません。
✓ ○休講した場合は、コース(全期間)受講者には、1日当たり500円の受講料を休講した日数分返金致します。ただし、返金額の上限は8,000円とします。
また、返金は、原則として講義最終日(8月27日)以降に一括で行います。
✓ ○受講者の都合により欠席された場合は返金致しませんのでご了承ください。
※テキストはお渡しいたします。

令和5年度 さっぽろ農学校入門コース講義内容とスケジュール

回	月日	課 題 名	内 容	講 師
1	4月9日	開講式		
		「野菜作りの基礎」その1	植え付け時期、苗の選び方、保温・低温対策	大居正一
		「野菜作りの基礎」その2	土づくりと肥料のやり方	大居正一
2	4月16日	「たまねぎ・ながねぎの栽培」	たまねぎ、ながねぎ、こねぎの栽培方法	柳山浩之
		馬鈴しょの栽培	馬鈴しょの栽培方法	奥山 誠
3	4月23日	「とうもろこしの栽培」	とうもろこしの栽培方法	中野雅章
		「根菜類の栽培」その1	にんじん、ごぼうの栽培方法	安達英人
4	5月7日	「ナス科野菜の栽培」その1	トマト、なす、ピーマン、カラーピーマン等の栽培方法	柳山浩之
		「ウリ科野菜の栽培」その1	すいか、メロン、きゅうり、かぼちゃ等の育苗、定植、着果管理方法	柳山浩之
5	5月14日	「サツマイモの栽培」	サツマイモの栽培方法	奥山 誠
		「豆類の栽培」	枝豆、さやいんげん、さやえんどうの栽培方法	奥山 誠
6	5月28日	「葉茎菜類の栽培」その1	レタス類、ほうれんそう等、薬物野菜の栽培方法	安達英人
		「根菜類の栽培」その2	だいこん、カブ、ラディッシュの栽培方法	安達英人
7	6月4日	「葉茎菜類の栽培」その1	キャベツ、白菜、ブロッコリー、カリフラワー等の栽培方法	柳山浩之
		「アスパラガスの栽培」	アスパラガスの栽培方法	中野雅章
8	6月11日	「プランター栽培」	ベランダや狭い空き地での栽培方法	奥山 誠
		「花栽培で生活に潤い」	庭やプランターで楽しむ易しい花の栽培方法	吉岡宏直
9	6月18日	「人にやさしい病害虫防除方法」	耕種的、物理的、生物的、自然派農業,その他による防除方法	奥山 誠
		「小果樹類の栽培」	ブルーベリー、ハスカップ等の栽培方法	杉浦輝陽
10	6月25日	「珍しい根菜類の栽培」	ショウガ、キクイモ、アピオス、サトイモ等の栽培方法	安達英人
		「温暖化に対応した野菜の栽培」	ゴーヤ、オクラ、落花生、ゴマ等の栽培方法	安達英人
11	7月2日	「ウリ科野菜の栽培」その2	すいか、メロン、きゅうり、かぼちゃ等の誘引、収穫方法	柳山浩之
		「ナス科野菜の栽培」その2	トマト、なす、ピーマン、カラーピーマン等の整枝、摘葉等これからの管理	柳山浩之
12	7月9日	「病害虫防除」その1	これからの留意すべき病害対策(主な病気の種類とその防除方法)	池田 信
		「病害虫防除」その2	これからの留意すべき害虫対策(主な害虫の種類とその防除方法)	池田 信
13	7月16日	「ハーブを活かした楽しい生活」	札幌のラベンダーとハーブ類の活用方法	堅木和枝
		自家製堆肥(コンポスト)の実際	生ごみコンポストのつくり方・利用方法	
14	7月23日	「健康野菜の栽培」	ヤーコン、ビーツ、ツルムラサキ、ロマネスコ等の栽培方法	安達英人
		「秋野菜の収穫、貯蔵方法」	野菜の生理生態からみた適期収穫、貯蔵方法	安達英人
15	7月30日	「有機農業の実際」その1	有機農業実践農家の体験に基づいた栽培ノウハウ	大塚裕樹
		「有機農業の実際」その2	有機農業実践農家の体験に基づいた栽培ノウハウ	大塚裕樹
16	8月6日	「夏秋に定植する野菜類の栽培」	いちご、にんにくの栽培方法	奥山 誠
		「多年生野菜の栽培」	にら、みつば、みょうが、西洋わさびの栽培方法	奥山 誠
17	8月20日	「農産加工事例」その1	家庭で出来るトマトソース、野菜ジャムの作り方	
		「農産加工事例」その2	家庭で出来る漬け物の作り方	
18	9月27日	「北海道の山菜」	タラノ芽、ぎょうじゃんにんにく、うど等の栽培方法	奥山 誠
		「質問に答えて、総復習」	これまでに出席された質問に答えて、総復習	高橋恒久
		閉講式		

※ 集合研修会は「市民農園栽培相談員、さとらんど農園案内は「園芸相談員」が対応。

講師名	経歴等		専門分野
	元職	現職	
枝	北海道農業改良普及センター普及指導員		農産加工
中野雅章	北海道立花・野菜技術センター場長		野菜
柳山浩之	北海道首席普及指導員	ホクレン野菜果実花き課 特任技師	野菜
池田信	北海道農政部上席普及指導員	住友化学株式会社アグロ事業部技術顧問	植物保護
吉岡宏直	北海道農業改良普及センター普及指導員	農業経営者	花き
杉浦輝陽	北海道農業改良普及センター普及指導員	くるるの杜特任技師	果樹
安達英人	雪印種苗(株)北海道研究農場研究員	渡辺農事(株)北海道営業所所長(札幌市)	野菜
大塚裕樹	新篠津村	大塚ファーム社長(農業経営者)	野菜
堅木和枝	札幌スタイル(札幌15-3-16)	Herb & Glass K's Factory 主宰	ハーブ
大居正一	北海道農業改良普及センター普及指導員	サッポロさとらんど市民農園栽培相談員	野菜
奥山誠	北海道農業改良普及センター普及指導員	サッポロさとらんど副施設長(3/31退職予定)	野菜
高橋恒久	北海道農業改良普及センター普及指導員	十勝農協連農産課技師(3/31退職予定)	野菜

往復ハガキ記入例

往信

往復はがき
00708800

往信

札幌市東区丘珠584番地2
サッポロさとらんど
「さっぽろ農学校」
入門コース係

ここには何も
記入しないで
ください

〈返信はがきの裏面〉

返信

往復はがき
□□□□□□

返信

さっぽろ農学校
入門コース受講希望

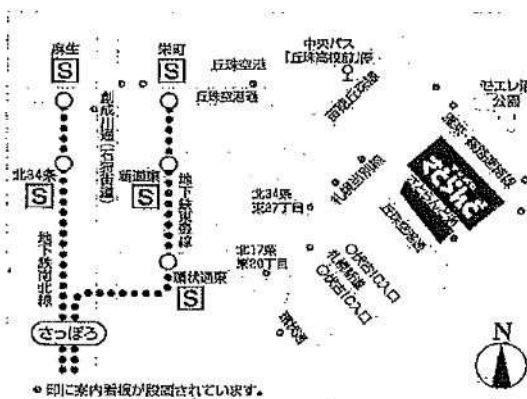
フリガナ

氏名 ○○○○○○
年齢 ○○
住所 ○○○○○○
○○○○○○○
電話番号 ○○○○

信先の住所
返信先の氏名

〈往信はがきの裏面〉

会場への交通



■地下鉄とバスで

- ①地下鉄東豊線「環状通車」駅より
中央バス 東61番「中沼小学校通」行きに乗車(約20分)。
 - ②地下鉄南北線「北34条」駅より
中央バス 東76番「中沼小学校通」行きに乗車(約20分)。
 - ③地下鉄東豊線「新道東」駅より
中央バス 東76番「中沼小学校通」行きに乗車(約15分)。
- ①②③とも「丘珠高校前」停で下車、徒歩10分。
※東76には夏期のみ一部の時間帯にさとらんど経由があります。

■乗用車で

- ①創成川通 → 環状通 → 札幌当別線
- ②北1条通 → 国道275号 → 雁来線路連絡線

お問い合わせ先

サッポロ
さとらんど

〒007-0880 札幌市東区丘珠584番地2
TEL 787-0223 FAX 787-0947

市民農業講座

さっぽろ農学校

専修
コース

令和5年度 受講生募集



◆専修コースは、本格的な野菜づくりについて、約7カ月間実地演習と座学講義を通して学んでいただく講座です。

市民農業講座「さっぽろ農学校」Twitterにて情報更新中！



@sapporo_nougaku

さっぽろ農学校専修コースのホームページ

<https://www.city.sapporo.jp/keizai/nogyo/center/nougaku/>



さっぽろ農学校

専修 コース

講座の概要

ほ場(畑)を利用した実習や講義を通じ、作物の栽培に関する知識や技術を学びます。

募集対象

札幌市の農業に強い関心や興味を持つ年齢が15歳以上で、講座期間を通じて受講が可能な方。

講座期間

講座期間：令和5年4月8日(土)～10月28日(土)

受講料・納入方法

受講料 48,000円 (テキスト代、種苗費、農業資材費含む)

※受講料納入についての案内は4月以降にお知らせいたします。

コース定員

24名程度

会場

【実地演習】札幌市農業支援センター圃場 (〒007-0880 札幌市東区丘珠町 569 番地10)

【座学講義】さとらんどセンター(サッポロさとらんど内) (〒007-0880 札幌市東区丘珠町 584 番地2)

受講生の決定

定員以上の申込があった場合、抽選により受講生を決定いたします。

※抽選結果は、当選落選にかかわらず令和5年3月下旬に通知いたします。

講座の講師

各分野の専門家が講師を務めます。

講座内容

約2,400㎡の畑を使用し行う実地演習と、座学講義を通じ、野菜づくりの基礎を学びます。期間を通じ、種まきから苗を育て、収穫、販売までの農作業の一連の流れを学びます。受講者が共同で作業を行う「共同管理ほ場」と、受講者一人ひとりが、栽培計画を作成して栽培を行う「自主管理ほ場」があります。

実習作物

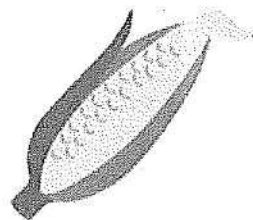
トマト、キュウリ、ナス、ピーマン、スイートコーン、イチゴ、エダマメ、ジャガイモ、ニンジン、タマネギ、コマツナ、ホウレンソウ、レタス、カボチャなど

自主管理ほ場(受講者専用の畑)

各受講生に、6m×6mほどの自分専用の畑が割り当てられます。そこで自分自身で目標を決めて、好きな作物を栽培してもらいます。一般的な作物の種子、苗、肥料、農薬、マルチビニール、支柱等の農業資材、農機具については、主催者側で用意します。また、自主管理ほ場で収穫した農作物は受講生に帰属します。

過去受講生の声

- ・7カ月という期間で不安もあったが、受講して新たな仲間や知識を得る事が出来て良かった！
- ・農業の奥深さを知ることが出来て、さらに興味が湧いた！
- ・知識も体力もついて非常に有意義だった！ ・今後の農的活動に大きな1歩となった！



講義・実習の概要

回数：土曜日 30 回、水曜日 12 回

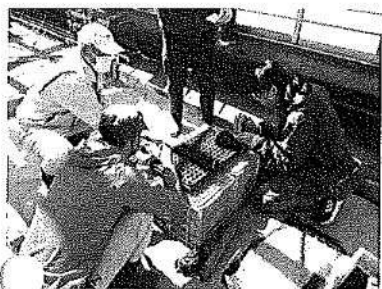
※水曜日の出席は任意です

水曜日を除き土曜日 7 割以上出席した受講生を
修了者として認定します。

4 月・5 月

実習：種まき、苗の管理、苗の植付など

講義：肥料の計算、各野菜の特性と栽培法



種まき



トンネル掛け

6 月・7 月・8 月

実習：苗の管理、定植、剪定、収穫など

講義：病害虫について



苗の管理

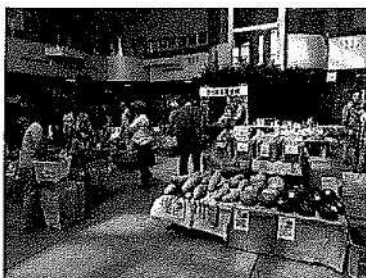


収穫

9 月・10 月

実習：販売実習、収穫・管理など

講義：雑草と対策、園芸資材の特徴、成果発表



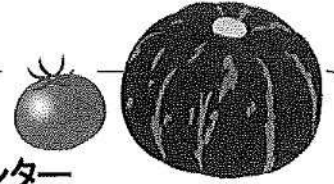
販売実習

9 月第 2 土曜日に行う
販売実習では、自分
たちで育てた野菜を
販売予定！

※講座内容とスケジュールについては、変更となること
がありますのでご了承ください。

ス ケ ジ ュ ー ル

月	日	曜日	時間	種別	回数	
4	8	土	9:00~10:00	講義	1	
			10:00~12:00	実習	1	
			13:00~15:00	実習	2	
	15	土	9:00~12:00	講義	2	
			13:00~15:00	講義	2	
	22	土	9:00~12:00	講義	3	
13:00~15:00			講義	3		
29		土	9:00~12:00	実習	3	
			13:00~15:00	講義	4	
5	6	土	9:00~12:00	実習	4	
			9:00~12:00	実習	5	
			13:00~15:00	講義	5	
	13	土	9:00~12:00	実習	6	
			13:00~15:00	実習	6	
	20	土	9:00~12:00	実習	7	
13:00~15:00			実習	7		
9:00~12:00			実習	7		
6	3	土	9:00~12:00	実習	8	
			13:00~15:00	実習	8	
	10	土	9:00~12:00	実習	9	
			13:00~15:00	講義	6	
	17	土	9:00~12:00	実習	10	
			13:00~15:00	実習	10	
	21	水	9:00~11:00	管理	1	
			9:00~11:00	管理	1	
		24	土	9:00~12:00	実習	11
				13:00~15:00	講義	7
28	水	9:00~11:00	管理	2		
		9:00~11:00	管理	2		
7	1	土	9:00~12:00	実習	12	
			13:00~15:00	実習	12	
	5	水	9:00~11:00	管理	3	
			9:00~11:00	管理	3	
	8	土	9:00~12:00	実習	13	
			13:00~15:00	講義	8	
	12	水	9:00~11:00	管理	4	
			9:00~11:00	管理	4	
	15	土	9:00~12:00	実習	14	
			13:00~15:00	講義	9	
	19	水	9:00~11:00	管理	5	
			9:00~11:00	管理	5	
22	土	9:00~12:00	実習	15		
		13:00~15:00	実習	15		
	26	水	9:00~11:00	管理	6	
			9:00~11:00	管理	6	
29	土	9:00~12:00	実習	16		
		13:00~15:00	講義	10		
8	2	水	9:00~11:00	管理	7	
			9:00~11:00	管理	7	
	5	土	9:00~12:00	実習	17	
			13:00~15:00	実習	17	
	9	水	9:00~11:00	管理	8	
			9:00~11:00	管理	8	
	12	土	9:00~12:00	実習	18	
			13:00~14:00	実習	18	
	16	水	9:00~11:00	管理	9	
			9:00~11:00	管理	9	
	19	土	9:00~12:00	実習	19	
			13:00~15:00	講義	11	
23	水	9:00~11:00	管理	10		
		9:00~11:00	管理	10		
26	土	9:00~12:00	実習	20		
		13:00~15:00	講義	12		
30	水	9:00~11:00	管理	11		
		9:00~11:00	管理	11		
9	2	土	9:00~12:00	実習	21	
			13:00~15:00	実習	21	
	6	水	9:00~11:00	管理	12	
			9:00~11:00	管理	12	
	7	木	9:00~12:00	実習	22	
			13:00~16:00	実習	22	
	8	金	9:00~12:00	実習	23	
			13:00~16:00	実習	23	
10	9	土	7:00~12:00	実習	24	
			13:00~17:00	実習	24	
	16	土	9:00~12:00	実習	25	
			13:00~15:00	講義	13	
	23	土	10:00~12:00	講義	14	
			13:00~15:00	講義	14	
30	土	9:00~12:00	実習	26		
		13:00~15:00	実習	26		
10	7	土	9:00~12:00	実習	27	
			13:00~15:00	講義	15	
	14	土	10:00~12:00	講義	16	
			13:00~15:00	実習	28	
	21	土	9:00~12:00	実習	29	
			13:00~15:00	講義	17	
28	土	9:00~12:00	講義	18		
		13:00~15:00	講義	18		



申込先

〒007-0880

札幌市東区丘珠町569番地10 札幌市農業支援センター
市民農業講座「さっぽろ農学校」専修コース係

メール: nougyou-center@city.sapporo.jp

応募方法及び期間

別紙「受講申込書」に必要事項をご記入の上、申込先に郵送または持参してください。またはホームページ上で所定様式ダウンロード後、上記メールアドレスにファイル添付の上、送付してください。

申込期間:令和5年2月10日(金)~3月13日(月)(必着)

注意事項

新型コロナウイルス感染症の流行状況によっては、開催を延期又は中止する場合がございますのでご了承ください。講座期間中は、新型コロナウイルス感染防止のため、感染拡大防止対策を行ったうえで講座を実施します。

「専修コース」実地演習、講義(室内)場所

【札幌市農業支援センター位置図】



【交通案内図】

■地下鉄とバス



※東76番には夏期のみ一部の時間帯に「さとらんど経由便」があります。

■乗用車



さっぽろ農学校



「入門コース」は、こちら！

入門コースは、「野菜栽培についての知識を勉強したい」、「ベランダなどで野菜を育ててみたい」と考えている方を対象に講義形式(座学)で開講します。(有料)

お問い合わせ先

サッポロさとらんど (TEL 011-787-0223)

〒007-0880 札幌市東区丘珠町 584 番地 2

※カリキュラム、受講料など詳細は、サッポロさとらんどにお問い合わせください。

「専修コース」お問い合わせ先

SAPPORO

【令和5年3月31日まで】

●札幌市農業支援センター

TEL 011-787-2220/FAX 011-787-2221

メール nougyou-center@city.sapporo.jp

【令和5年4月1日以降】

●サッポロさとらんど

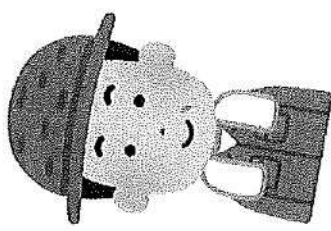
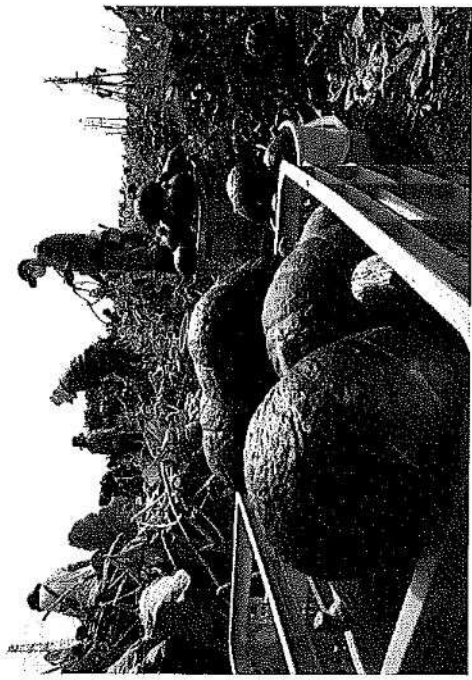
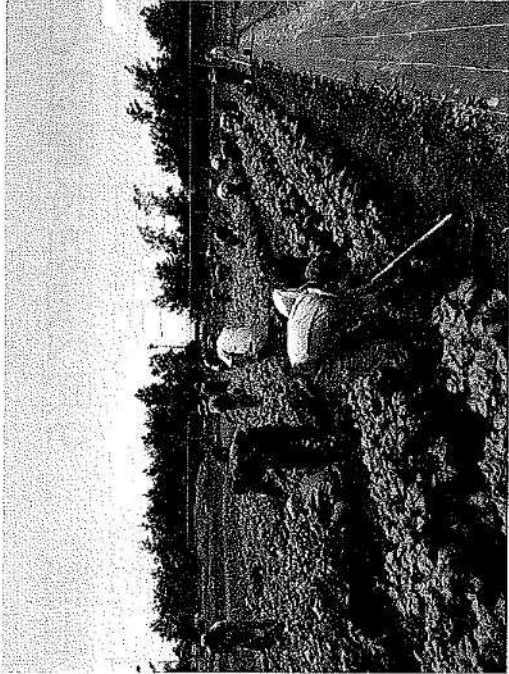
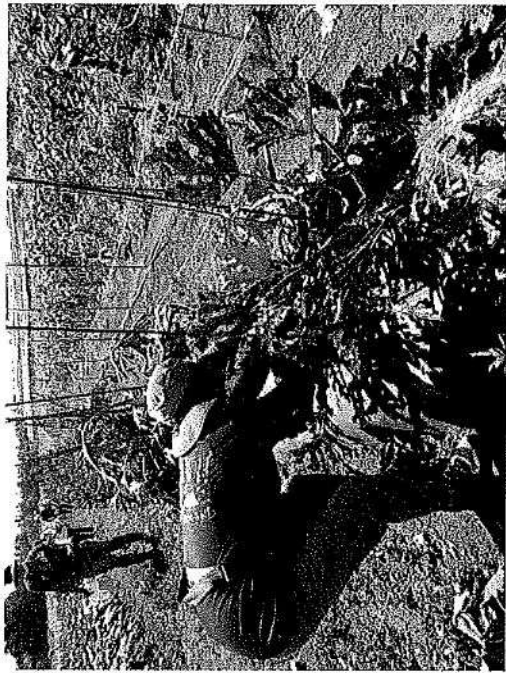
連絡先は上記のとおり

※令和5年度よりさっぽろ農学校専修コースはサッポロさとらんどの所管となります。



さっぽろ市
02-H04-22-2350
R4-2-1483

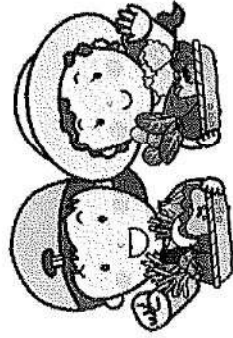
市民農業講座「さっぽろ農学校」専修コース



講座紹介

札幌市経済観光局農政部農業支援センター

講座の概要

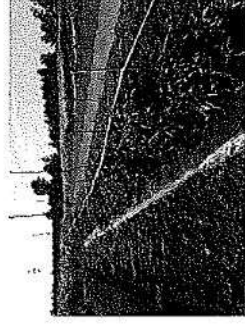


- ・農業ボランティアを行いたい!
- ・“農”が好きな仲間を作りたい!
- ・野菜を上手に作りたい!

このような方々向けに
農業講座を実施しています!

講座情報

- 募集対象：農業に関心を持つ15歳以上で、講座期間を通じて、受講が可能な方。
- 講座期間：令和5年4月8日（土）～10月28日（土）までの毎週土曜日
（水曜日が12回（任意）、9月2週目木曜日と金曜日で各1日実施します）
- 講座内容：実習29回、講義18回、管理12回
- 受講料：48,000円（受講料振込は4月以降）



実施会場

■ (実地演習)

札幌市農業支援センター園場
(札幌市東区丘珠569-10)

(座学講義)

サッポロさとらんどセンター
(札幌市東区丘珠町584番地2)

※伏古拓北通りという中央に
大きな分離帯のある通りに面します。
※「さとらんど」と「札幌市農業支援セン
ター」は入り口が別なのでご注意ください。



講師について

- **主任講師（1名）**
北海道のOB職員などが務めます。
園芸作物全般の栽培指導を行っていきます。
- **補助講師（2名）**
さっぽろ農学校修了生OBが
主任講師をサポートしていきます。
実際の作物栽培の指導も行います。
- **実習ボランティア（3名）**
受講生の実習をサポートします。実習ボランティアは、
農学校修了生ですので、気軽に相談が出来ます。

講師陣・ボランティア等の
サポートのもと安心して
受講できます！

実習について

実習29回

(土曜日、木曜日 (9月第2週1日)、金曜日(9月第2週1日))

実習では、実際に圃場に出て一連の作業を行います。

施肥

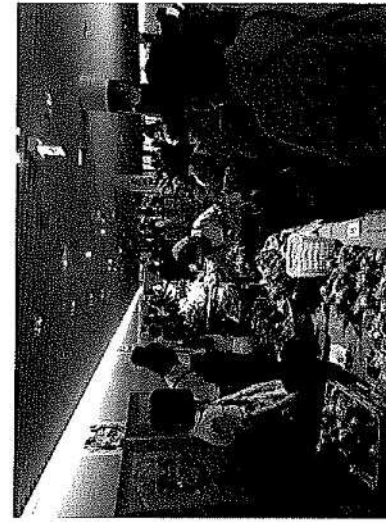
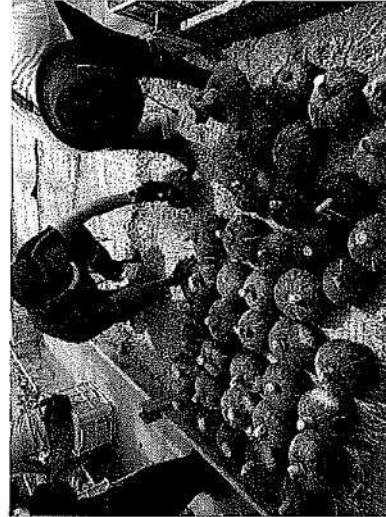
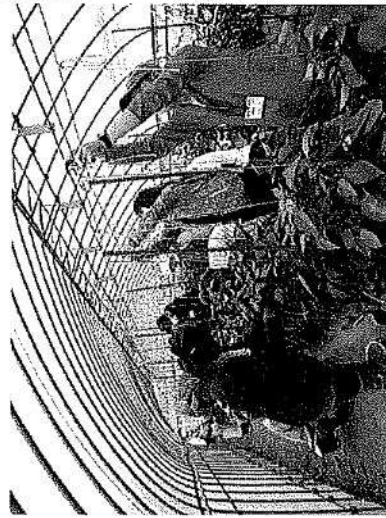
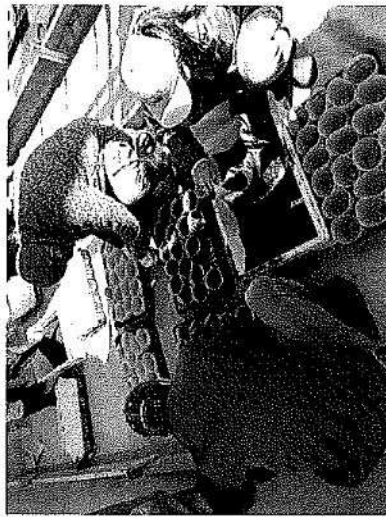
耕起

播種

管理

収穫

販売

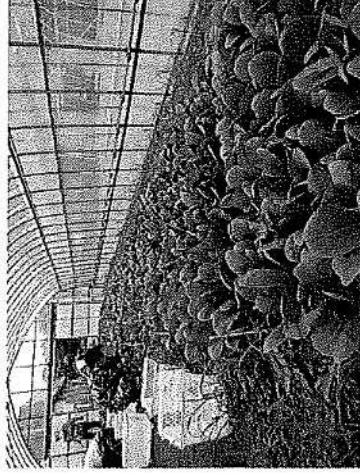


実習について

当実習では2つの種類の圃場（畑）を使用していきます。

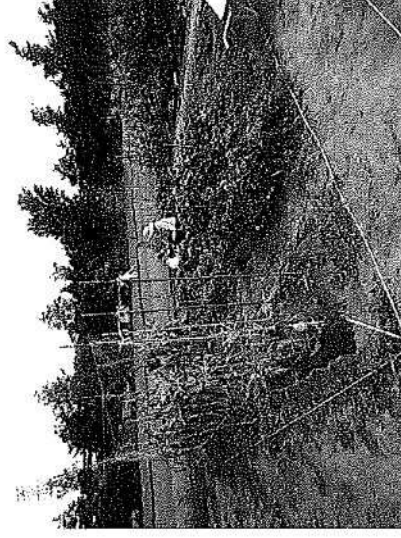
共同管理圃場

受講生のみなさんで管理する畑（圃場・ほじょう）です。主任講師のレクチャーのあと、皆さんで実践していただき、栽培技術の基礎を学びます。9月の販売実習に向けて栽培管理していきます。



自主管理圃場

個人専用の畑（約36㎡）が割当てられます。講義内容を参考に、肥料計算や作付図を作成し、各自、課題を設定して管理します。11月に成果発表として、分かったこと、失敗したことなどを発表します。また、平日（開庁日）にお越しいただき、畑の管理をすることも可能です。



実習について

管理12回

(6月～9月の毎週水曜日午前を実施)

毎週土曜日の栽培実習のみでは、管理が行き届かず、維持管理がうまくできません。夏期は、共同管理圃場の収穫や、枝の除去などの管理作業を毎週水曜日に行います。基本的には、農業支援センター職員が指導いたします。水曜日は任意参加です。

管理内容

- ・ 収穫
- ・ 枯葉や枝の除去、つるの誘導
- ・ トマトの脇芽取り、キュウリの摘葉
- ・ 水やりなど

